

大学発新産業創出プログラム 社会還元加速プログラム(SCORE) チーム推進型
事後評価結果

研究開発課題名:	肉用牛の産肉形質の生体肥育診断システムの事業化検証
研究担当者(所属・役職・氏名)	近畿大学 生物理工学部 教授 松本 和也

1. SCORE での活動目的

肉用牛の生産性向上と農家経営の安定化に資することを目的に、現在開発している「肥育期間中に肉用牛の産肉形質を生体評価する診断システム」を現場実装するビジネスモデルの構築を行った。本研究開発では、直接チャネルである繁殖農家・肥育農家と、間接チャネルである行政機関や一般企業に対してヒアリングやアンケート調査を実施し、4つの仮説(①各顧客セグメントのニーズと提供できる価値②サービス性能を妥当な価格で提供できるか③事業化におけるパートナーネットワークの必要性④競合技術への対策)について調査して、作業仮説の検証を繰り返すことで、事業化に最適なビジネスモデルの構築を目指した。

2. 総合所見

畜産農家、自治体、家畜診療所などにインタビューやアンケート調査を通して市場ニーズや競合技術を明確化した点や、顧客候補との技術検証を実施し具体的なサービスの運用を検討した点を評価する。フードテックとして注目されている分野であり、事業化を実現することに期待する。

以上